

小鳥たちのすみわけ

観察しよう

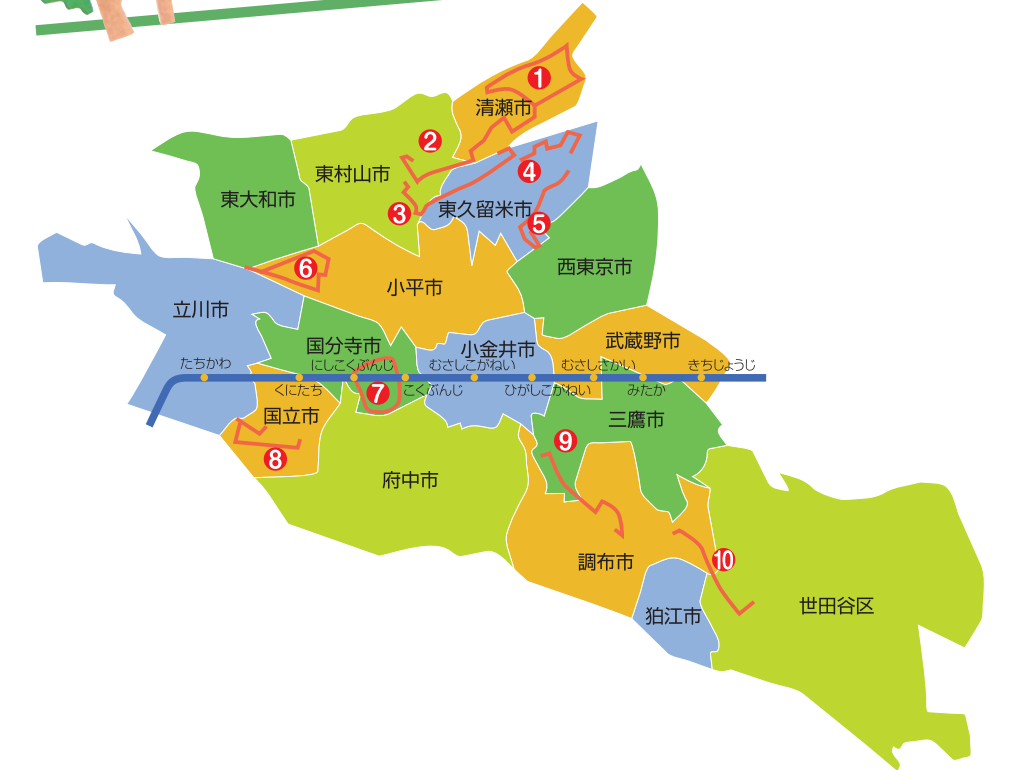
シジュウカラの仲間は、秋の終わり頃から群れをつくるようになります。この群れには、普通、ヒガラやヤマガラといったシジュウカラ科の鳥が加わるため、「カラの混群」と呼ばれていますが、このほかにもメジロ、コゲラ、エナガ、キクイタダキなど、いろいろな種類の小鳥が一緒に行動しており、ときには100羽を超える大群になることもあります。

冬になって、すっかり葉を落とした雑木林は、小鳥たちを観察する絶好の場所です。林の中でカラの混群をよく観察していると、種類によって餌をとる場所ややりかたが違うことに気がつきます。シジュウカラはよく地面におりて、落ち葉の下にいる虫を探していますが、エナガはこすえの近くで、ヒガラは枝先で、コゲラは幹や太い枝で、それぞれ餌を探しています。一つの群れになって行動し、ちょっとみると同じようなくらし方をしているようでも、種類ごとに餌をとる場所を別々にすることによって、むだな競争をしないようにしているのです。このように、くらし方が似ている動物たちが、生活に利用する場所を少しずつ変えて生きていくことを「すみわけ」といいます。

生物の種類が多ければ多いほど、地域の自然は全体としてバランスのとれた、安定した社会を保ちつづけることができると考えられています。すみわけも、多くの種類の生活を可能にするしくみとして、安定した生物社会を保つため役立っているのです。



「雑木林のみち」は10コース



次の10コースを「雑木林のみち」として選定しました。

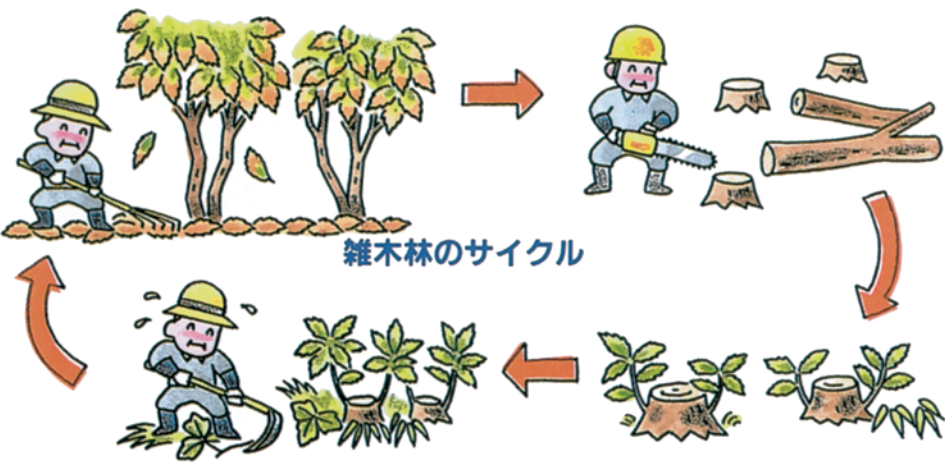
コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
① 清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.6km	畑の広がりと屋敷林	清瀬市
② 松山・青葉町コース	森のこみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
③ 黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.3km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市・東村山市
④ 小山・金山コース	丘のこみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
⑤ 南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
⑥ 玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
⑦ 国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
⑧ 矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
⑨ 野川・深大寺コース	ハケの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
⑩ 調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖樹林	調布市・世田谷区

武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といっても宜い」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15～20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となって残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の中は、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



「雑木林のみち」へようこそ

■「雑木林のみち」とは

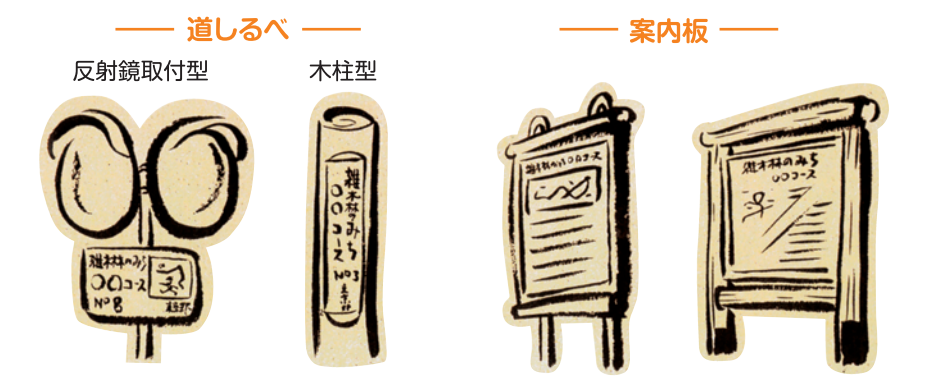
東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。

■「雑木林のみち」の特徴

- 「雑木林のみち」のコースは次のような点に留意して選定しました。
- 1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良く残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散策や自然観察に向いている。
- 2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
- 3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散策できる。
- 4. 電車やバスなどの交通の便がよい。

■「雑木林のみち」の歩き方

「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、ところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散策してみると、新たな発見があるかも知れません。



ここに注目!小山・金山コース

① 東久留米金山緑地保全地域

荒川の支流である黒目川を南に見る台地上に広がる約1ヘクタールの緑地で、全域がクヌギ、コナラ、アカマツを主体とする雑木林です。区域の南側は黒目川の崖線が保存されている貴重な例となっています。平成6年3月に東久留米金山緑地保全地域として指定されました。

② 氷川台緑地保全地域と宗教法人聖グレゴリオの家

コナラ、アカマツを主体とし、静かな住宅地の一角にある約1ヘクタールの雑木林が氷川台緑地保全地域です。この北側には、カトリック礼拝音楽の研究を行っている「聖グレゴリオの家」があり、美しいパイプオルガンの音が流れてきます。

③ 小山緑地保全地域と子ノ神社・小山台遺跡公園

小山一丁目から氷川台一丁目にかけての一角は、「小山台遺跡」として知られているところです。昭和41～42年の都・市合同調査、45年の発掘調査によって、住居跡、縄文式土器、打製石斧、磨製石斧、などが発見されました。現在、そのうち約4,400㎡については東久留米市立の小山台遺跡公園となっています。そして、クヌギ、コナラ、イヌシデなどの林が主体となっている約17,000㎡は、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、小山緑地保全地域として平成元年3月に指定されました。また、この一角にある子ノ神社は、文禄元年(1592)小山を治めていた地頭矢部藤九郎が勧請した社と伝えられ、2月20日と10月2日が当神社の祭で、そのお囃子は市の無形民俗文化財に指定されています。

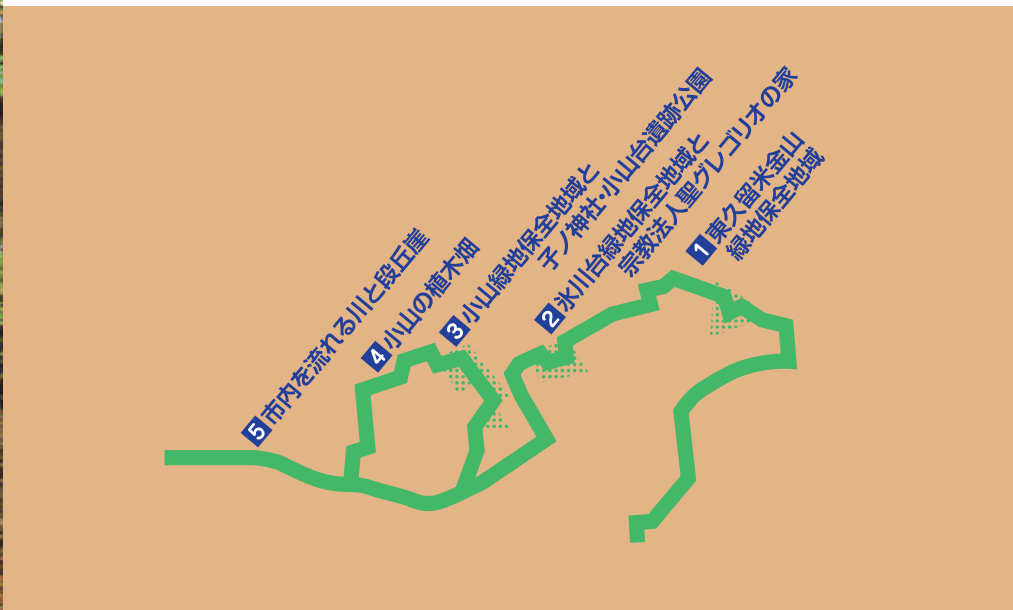


④ 小山の植木畑

サルスベリ、キンモクセイ、マテバシイなどの植木畑が残る小山三丁目付近一帯は気持ちの良い散策が楽しめます。

⑤ 市内を流れる川と段丘崖

東久留米市は、富士・箱根などの火山灰が大量に降り積もってきた武蔵野台地上に位置しています。市内を流れる黒目川、落合川、立野川の3河川は、各所から湧き出した湧水を集めながら市を西から東へと刻み、市の西端「落合の地」で合流し、荒川へと注ぎこんでいます。このあたりに見られる地形の起伏は、これらの川によって形成された段丘崖なのです。



4 小山・金山

4 小山・金山コース

丘のこみち

雑木林のみち

雑木林のみち

小山・金山コース○東久留米市
○延長5.0キロメートル
交通・池袋から西武池袋線で25分東久留米駅下車



雑木林のみち・小山・金山コース

登録番号 110号
環境資料第 30124号
編集年月 平成 31 年 1 月
発行年月 平成 31 年 1 月
編集発行 東京都環境局
新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
TEL03(5388)3555
印刷 内外地図株式会社
イラスト 川上洋一、(有)ゼフィルス 御手洗 望
写真協力者(敬称略) 佐々木一弘

リサイクル選性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE
OIL INK

R70
光顔バブル配合率70%再生紙を使用



東京都